

社協だより サポート なよろ

Vol.10 / 平成26年11月

Contents (目次)

- p1. 豊栄区町内会ふれあい昼食会 (表紙)
- p2. 東日本大震災を忘れない
私たちのまちづくりを考える
- p3. ふれあいボウリングの集い
「みんな」がつながる「みんな」の地域
ここが魅力!町内会!
- p4. 共同募金運動へのお礼・お知らせ
エコキャップ活動
- p5. ボランティア・福祉団体等の紹介
ヘルパー募集/チャリティ映画会お礼
愛精銀行からのお礼
- p6. 「生活の変化に対応した食生活」のご案内



「豊栄区町内会ふれあい昼食会」にて (2014.10.6)

第21回福祉標語最優秀賞

参加して 笑顔広がる ボランティア

風連下多寄小学校6年 藤垣 通奈さん

発行 社会福祉法人 **名寄市社会福祉協議会**

〒096-0011

北海道名寄市西1条南12丁目

名寄市総合福祉センター内

TEL: 01654-3-9862 / FAX: 01654-3-9949

ホームページ <http://www.nayoro-shakyo.jp> / E-mail info@nayoro-shakyo.jp

【風連支所】

〒098-0507

名寄市風連町西町196-1

名寄市役所風連庁舎内

TEL: 01655-3-3777 / FAX: 01655-3-3999

facebook

<http://www.facebook.com/nayoroshakyo>

名寄市社協ホームページ
[PC&携帯でご覧いただけます]
<http://www.nayoro-shakyo.jp>



社協だよりの発行には赤い羽根共同募金の助成金が役立てられています

東日本大震災を忘れない 私たちのまちづくりを考える

平成26年度名寄市町内会ネットワーク研修会

つながり、支え合う地域づくり

～東日本大震災の経験から～



小林さつきさん

市民の支え合い活動などをおして安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的として、市内の町内会単位で実施している町内会ネットワーク事業の研修会を9月26日（金）に名寄市総合福祉センターにて行いました。

名寄市町内会連合会、名寄市民生委員児童委員連絡協議会との共催で開催した本研修会には約160名の方に参加をいただき、私たちが暮らす地域での活動のあり方や大切さについて理解を深めました。

研修会では、始めに19区町内会事務局長の吉田隆幸さんより「みんなで見守る町内会」と題して、町内会での様々な実践報告をいただきました。

その後「つながり、支え合う地域づくり～東日本大震災の経験から～」と題して岩手県宮古市社会福祉協議会相談員・ボランティアコーディネーターの小林さつきさんより講演をいただきました。

小林さんからは、2011年3月11日発生した東日本大震災当時やこれまでの復興の様子、これからのまちづくりの展望、課題などについて講演をいただき、市民同士がつながりを持ちながら日々の生活を送ることの大切さや、災害など「もしも」のときに備えることの重要性について理解を深めました。

小林さんからは、2011年3月11日発生した東日本大震災当時やこれまでの復興の様子、これからのまちづくりの展望、課題などについて講演をいただき、市民同士がつながりを持ちながら日々の生活を送ることの大切さや、災害など「もしも」のときに備えることの重要性について理解を深めました。



子どもの心を育む講演・交流事業

名寄中学校・名寄東中学校講演会

名寄市社協が市内の学校に講師の派遣を行う「子どもの心を育む講演・交流事業」として、上記町内会ネットワーク研修会の講師である岩手県宮古市社協の小林さつきさんに、名寄中学校と名寄東中学校での全校生徒を対象とした講演を9月25日（木）に行っていました。

東日本大震災の際に、復校に向けて寄せられた全国からの支援や災害ボランティア活動の様子を紹介しながら、震災当時被災地では中高生の力が復興に大きく役立ったことを話され、今自分達ができることに取り組むことの大切さを話されました。



宮古市のこれまでを紹介する映像に見入る名寄中学校の生徒達

岩手県宮古市社協

小林 さつきさん

からのメッセージ

今回、このような機会をいただき、本当にありがとうございました。

名寄市に伺うのは初めてでしたが、とてもあたたかい方たちばかりでした。

震災から3年半、宮古市では復興に向けて新たなまちづくりに取り組んでいます。それには大きな難しさもありますが、これまでいただいた支援をきっかけにできた“つながり”が、背中を押してくれています。

その感謝も込め、また名寄に伺える日を楽しみにしています！



宮古市の高校生主催の地域交流会の様子

ふれあいボウリングの集い

平成26年度ふれあいボウリングの集いを9月30日(火)に朝日ボウルにて開催しました。

ふれあいボウリングの集いは、名寄市に居住する障がいのある方々の社会参加や参加者同士の交流などを目的として、朝日ボウル様、名寄ライオンズクラブ様のご協力のもと毎年開催しており、今回で26回目を迎えました。

道北ワークセンター、ふれあい友の会、上川北部聴覚障害者協会など5団体からの参加があり、ボランティアも含め約30名の方に参加いただきました。

毎年の開催を楽しみにして下さっている方も多く、限られた時間ではありましたが、会場には参加者同士の歓声が響き渡り、楽しいひとときを過ごしました。

参加、協力いただいた皆さん、大変ありがとうございました。



「みんな」がつながる 「みんな」の地域

研修会「みんな」がつながる「みんな」の地域を10月10日(金)に名寄市総合福祉センターで開催しました。

講師に秋田県小坂町社会福祉協議会事務局長の柏山茂紀さんにお越しいただき、小坂町で展開している「小坂町福祉コミュニティエリア構想」をとおした世代間交流や健康づくり、就労など市民の活動の場づくりについて講演をいただきました。

小坂町では社協・行政・障がい者支援を行っている社会福祉法人花輪ふくし会の三者が連携をして、市街地に市民活動の拠点を構え、年齢や障がいに関わらず多くの市民がつながり、様々な活動を展開しており、それらの実践をとおして市民が交流、活動できる場の重要性や魅力について学びました。

本研修会は平成26年度北海道社会福祉総合基金助成を受け実施している「多分野多世代における地域の活動拠点創出事業」の一環として実施しました。



柏山 茂紀さん

シリーズ

こころが魅力！町内会！

～私たちが暮らす町内会を紹介します～

Vol.10

一区町内会

藤原 忠 会長

「すきやき隊」

一区町内会は333世帯あり、名寄市の中心部に位置しています。

市内には通称「すきやき隊」と呼ばれる「せわやき・せわずき隊」が町内会や老人クラブで4団体あり、一区町内会でもその活動を行っています。

すきやき隊では保育所の避難訓練のお手伝いや運動会への参加、クリスマス会などを実施しており、クリスマス会では持ち寄ったプレゼントを交換したり

歌を歌ったりと毎年たくさんの方と交流を楽しんでいます。



リンゼイ使節団との交流会

「サロンはなぞの」

毎週月曜日の午後1時から町内会館で「サロンはなぞの」をオープンしています。

地域の中に子どもから高齢者まで皆が交流できる場をつかっており、トランプなどのゲームやお茶を飲みながら会話をするなど参加者同士が楽しみながら交流を深めています。

また、ウォーキングや手芸、介護などの講話や大学生との交流会などのイベントも開催しています。

皆で交通安全

名寄市の交通安全モデル町内会に指定されており、子ども達の登下校の見守りをする「南小見守り隊」の他にも、廃品回収や夏休みのラジオ体操の後に交通安全についての講話を行うなど、地域の交通安全の普及に努めています。

また、姉妹都市のリンゼイ使節団との交流会を行ったこともあり、今後も様々な取り組みをより充実させ町内会に暮らす皆で明るく住みよい町内会づくりを展開していきます。

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます！！

10月から行っている赤い羽根共同募金運動へのご協力ありがとうございます。

町内会や街頭、事業所、職場募金などで寄せられた皆さんの温かいお気持ちは社会福祉協議会や市内外で活動している福祉団体などに助成され、私たちが暮らす地域づくりの様々な場面に生かされます。



赤い羽根募金の使い道

- 高齢者や障がいのある方へのサービス
- 町内会活動の支援
- ボランティアの育成や活動支援
- 行事用テントの購入助成
- 学校での福祉教育やボランティア活動
- 災害復興の支援
- 高齢者・障がい者団体への支援
- 施設の修理や機器購入など、私達の暮らしの様々な場面に役立てられます

引き続きご協力をお願いいたします！



共同募金の運動期間は12月31日までです。募金は名寄市共同募金委員会で受付けています。

歳末たすけあい運動 ご協力よろしくお願ひします！

共同募金運動の一環として行っている「歳末たすけあい運動」を今年も12月1日より行います。



この運動は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、義援金の助成に加え、町内会での年末年始の高齢者との食事会や配食などの地域福祉活動の推進に役立てられる、地域の皆さんの温かい気持ちに支えられている運動です。

赤い羽根共同募金に引き続き、ご協力をよろしくお願ひいたします。

お問い合わせ先

名寄市共同募金委員会

〒096-0011 名寄市西1条南12丁目
 名寄市総合福祉センター内
 TEL: 01654-3-9862 FAX: 01654-3-9949

ボランティア募集!! エコキャップ活動

市民の皆さんからお寄せいただいたエコキャップ（ペットボトルのふた）を活用して、世界の貧しい子ども達のワクチンや図書提供などの生活に役立てる活動を行っています。

現在、集められたキャップの整理を行っていただけの方を募集しています。

活動は下記のとおり行っていますので、皆さんのご参加ご協力をよろしくお願ひします。

ボランティアとしてご協力いただける皆さんへ

- ◆活動日 毎月第1火曜日10時～12時
 - ◆場 所 名寄市総合福祉センター
 - ◆事前申込 不 要
 - ◆活動内容 キャップの最終整理(仕分けなど)
- ※特に必要な持ち物はありません。
 どなたでも参加いただけますのでお気軽にお越しください。

エコキャップをお寄せいただける皆さんへ

- キャップは必ず「水洗いをして」お持ち下さい。
 下記のようなキャップは回収できませんので、ご協力お願ひします。
- ◆回収不能キャップ
 醤油やお酒等のキャップ/洗われていないもの/シール等が貼ってあるもの
 - ※一般的なペットボトル飲料のキャップを回収します。

ボランティア・福祉団体等の紹介

名寄市点訳赤十字奉仕団

名寄市点訳赤十字奉仕団は視覚障がいのある方々への点訳奉仕と点訳奉仕者育成のための点字指導を目的に活動をしています。

日頃の活動

毎月発行される名寄市広報や社協だよりなどの公出版物の点訳や視覚障がいのある方が読む書物の点訳などを行っています。

日本全国の方とつながっています

点訳した図書は点字図書館を通じて全国の視覚障がいのある方々へ届けられますが、名寄から全国の方々のお役に立っているという誇りと喜びをもって日々のボランティア活動を行っています。

いつでも体験受け付けています

点字に興味がある、勉強してみたいという方がいらっしゃいましたらいつでも説明や体験をさせていただきますので、お気軽にご連絡下さい。

一日の僅かな時間を点字ボランティアにお使いいただければ幸いです。

ぜひ私達と一緒に楽しく活動を楽しみましょう。



【定期的活動】

活動内容：各種(広報誌、蔵書など)点訳
活動日：毎週金曜日
活動場所：名寄市総合福祉センター
(名寄市西1条南12丁目)

【問い合わせ】

名寄市点訳赤十字奉仕団
会長 田原 直子
〒096-0032
名寄市西2条北3丁目
TEL:01654-2-4602

●ヘルパー募集！！

職 種：ホームヘルパー 雇用形態：パート

給 料：時給 1,150円～ 業務内容：訪問介護

手 当：資格手当 3,000円(介護福祉士)

業務手当 70円/1時間

勤務体系：不定休(シフト勤務)

必要な資格等：初任者研修修了者(ホームヘルパー2級以上)

そ の 他：詳細については名寄市社会福祉協議会まで

お問い合わせ下さい。

※応募希望の方はハローワークから「紹介状」の交付を受けて下さい。

チャリティ映画会 ご協力ありがとうございました

9月16、17日に第一電気館を会場に開催した平成26年度チャリティ映画会には、593名の方々にご来場いただき誠にありがとうございました。

本映画会は、名寄市愛情銀行運営委員会が主催となり、町内会や福祉団体、ボランティア活動など地域福祉活動の充実を図るため、その益金を福祉機器等購入助成事業に役立てており、今後審査のうえ、市内の福祉団体や町内会などの活動に役立てられます。

愛情銀行への預託ありがとうございました！

愛情銀行は、昭和44年に市民の皆さんの愛情を善意として積み立て、社会福祉事業に活用することを目的に開始されました。現在は、会葬礼状としてご利用いただいている「福祉はがき」をはじめ、チャリティ映画会の益金、金銭や物品寄付を、福祉団体の福祉器具購入助成など市内の地域福祉・在宅福祉事業に有効に活用させていただいています。



◇愛情銀行寄託[福祉はがき]

(平成26年8月1日～平成26年9月30日)

月	寄付金額	件数	月	寄付金額	件数		寄付金額	件数
8	245,000円	8	9	245,000円	11	合計	490,000円	19

◇愛情銀行寄託[一般寄付]

(平成26年8月1日～平成26年9月30日)

月	寄付金額	件数	月	寄付金額	件数		寄付金額	件数
8	0円	0	9	60,000円	3	合計	60,000円	3

生活の変化に対応した食生活

11/14(金) 午後1時30分～午後3時30分
(受付 午後1時～)

●会場
名寄市総合福祉センター
(名寄市面1条南12丁目)

シンポジウム 午後1時30分～午後2時30分

災害時の食を考える

登壇者

- ・菅原 清香 氏
(一般社団法人コミュニティ・U・チルドレン 防災・福祉学習コーディネーター)
- ・市内町内会代表者
- ・篠原 辰二 氏 (一般社団法人ウェルビー・デザイン 理事長)

災害時など普段の生活とは異なる環境になったときには、食材や調理器具の不足、高齢や病気などによる食事制限、アレルギーなどの体質への対応など様々な課題が生じてきます。

そういったなか、私達はどのように食を確保すればいいのでしょうか。災害時の食についての実践をして来られた方や、市内町内会の方のお話をお聞きしながら考えます。

講演 午後2時30分～午後3時30分

生活の変化に対応した食生活

講師

- ・篠原 辰二 氏 (一般社団法人ウェルビー・デザイン 理事長)

日頃からバランスのとれた食生活を送ることは大切なことですが、高齢や一人暮らしなどそれぞれの生活様式によってはなかなか難しい面もあります。

また、大雪や大雨などの天候不順や災害時など非日常の場面になるとそれはより一層難しくなってきます。

そこで、どのような生活様式でも安心した食生活を送ることができるよう、生活の様々な変化に対応するための工夫や備えについて学びます。

主催：名寄市社会福祉協議会 (TEL：01654-3-9862)

参加無料



菅原 清香 氏

一般社団法人
コミュニティ・U・チルドレン
防災・福祉学習コーディネーター

宮城県仙台市出身。東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科卒。健康心理士。

大学時代に所属したボランティアサークルにおける防災教育活動や、2008年岩手・宮城内陸地震における災害ボランティア活動をきっかけに、地域防災・防災教育活動、災害支援活動に取り組み始める。2012年6月より現職に着任。

防災や福祉に関する研修会などで講師を務めるなかで、災害時においても健康的な食生活を送ることができるような炊き出し訓練の企画などにも携わっている。



篠原 辰二 氏

一般社団法人
ウェルビー・デザイン 理事長

北海道伊達市出身。道都大学社会福祉学部卒業。北海道内2つの市町において計14年間、社会福祉協議会職員として勤務。地域特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業の経験を踏まえ、地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開している。

篠原社会福祉士事務所代表、特定非営利活動法人 Facilitator Fellows 理事兼事務局長、JMCイイ・エフ・エム・オフィス Feel Do 主任研究員、北海道社会福祉研究所研究員、北海道地域福祉学会理事兼事務局長。社会福祉士。防災士。

参加を希望される方は、11月7日(金)までに名寄市社会福祉協議会まで電話・FAX等にてお申込み下さい。

印刷の事なら何でもご相談下さい。
Mac・Winデータ対応。カラープリント、1枚が5でもOK

株式会社 北方印刷所

代表取締役社長 橋山 秀明

〒098-0010 名寄市大通南5丁目
TEL.01654-2-2337 FAX.2-2115
http://www.hoppoh.jp

◇編集後記◇

11月14日(金)に開催する「生活の変化に対応した食生活」では、高齢、一人暮らし、体調不良、悪天候など私達の生活の中であり得る生活の変化に応じた「食生活」について考える時間となっています。

安心できる食生活は、生活の中においても大切なことです。ぜひ一緒に私達の食を考えましょう。